

市長 ▶ 認証式で安倍首相と握手する梅谷



## 「市民ドック」がスタート

本年度から始まった市民ドック。これは、昨年度までのまちぐるみ健診に替わるもので、従来からの大きな変更点は、午後からも受診可能▽5月から12月にかけて実施▽受診者全員が医師の診察を受ける▽女性のみの受診日の設定――などです。

ドック初日だった5月17日には、254人が大屋保健センターを訪れて各検査項目をスムーズに受診しました。

受診された大屋町蔵垣の松原実さんは、「昨年までは終了するまでにかなりの時間がかかりましたが、今日は1時間ほどで受診できました」と感想を話していました。今後、旧町別に会場を設けて12月まで実施しますので、自分の健康管理のためにも必ず受診してください。(受診申し込みを受け付けていますので、市役所健康課までお問い合わせください)

## 「養父市教育特区」が認証される

このたび、国に対して申請をしていた構造改革特別区域計画（養父市教育特区）が認証され、5月21日、総理官邸において認証式が行われました。

これは、昨年12月に株式会社ウィザス（大阪市、堀川一晃社長）との間で協定を締結した広域通信単位制高等学校（ウィザス ナビ高等学校）の誘致に伴い、株式会社による学校の設置を行うための規制緩和を求めていたものです。

同校での通常の授業は、インターネットやDVDの教材を利用。観光や環境、福祉など養父市の地域特性を活用した内容が取り入れられるほか、生徒が学校を訪れて体験学習やボランティア活動を行います。今後、平成20年4月の開校を目指し、同社が旧大谷小学校の改修工事に着工する予定です。



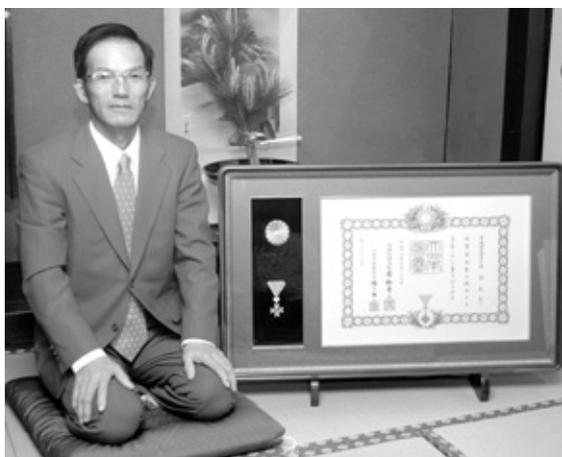
市民ドックを受診する市民の皆さん(大屋保健センター)

## 「春の叙勲」受章

昭和38年から約40年間、旧関宮町消防団の団員として活躍。平成10年4月から退団までの4年間は、団長として地域の安全・安心のために活動されました。

在任中には、住民参加の消火訓練、自主防災組織の結成に向けて積極的に取り組まれるなど、防火意識の向上に尽力。火災現場や氷ノ山での遭難事故では陣頭に立ち、率先して消火・捜索活動にあたりました。

西谷さんは、「受章の重みを感じ、非常に感激しています。大変な任務ですが、現役の団員の皆さんには、使命感をもって住民の安全・安心のために頑張ってもらいたい」と話されました。



瑞宝単光章  
西谷光生さん(葛畑)